



イベントごみ減量マニュアル

～ごみの出ないイベントの実現に向けて～

令和6年8月

金沢市環境局ごみ減量推進課

1 はじめに

目的

イベントの開催は、まちの活性化につながる一方で、電気等のエネルギーや資源の消費、廃棄物の発生等、環境に対し様々な負荷をもたらす場合があります。金沢 SDGs の達成やゼロカーボンシティかなざわの実現に向け、イベントで出るごみの削減の取組を始めてみませんか？

本マニュアルは、イベントで発生するごみの減量化・資源化に向けた取組アイデアをまとめ、環境配慮型のイベント開催を支援する目的で作成しました。マニュアルを活用して、“**ごみの出ないイベント**”の実現を一緒に目指しましょう！

まずはイベントで出るごみを考えてみよう！



2 イベントごみの減量化・資源化の取組手順

イベントごみの減量化・資源化を促進するための5ポイント

まずはリーダーを決めよう

ポイント1

イベント主催者は、イベントから出るごみの減量等を推進するための責任者（リーダー）を選出します。

取組内容を考えてみよう

ポイント2

イベント内容や開催場所等に応じて、次ページからの「取組アイデア」を参考にイベントで実施可能な取組を検討し、実施内容を決定します。

取組内容をみんなに知ってもらおう

ポイント3

スタッフ・出展（店）者・参加者等に対しごみの出ないイベントへの理解と協力を呼び掛けます。
イベント開催の実施計画や運営マニュアル等がある場合は、ごみ減量の取組について記載し、実践できる体制を整えましょう。

イベントで実践しよう

ポイント4

イベント開催中、スタッフ・出展（店）者・参加者等が、計画した取組を実践できているか確認します。参加者に対しては、環境配慮イベントであることや、実践している取組についてPRし、取組の効果を高めましょう。

イベントが終わったら振り返ろう

ポイント5

イベント終了後、取組の実施状況やごみの発生量等について、改善点や良かった点をまとめ、次回イベント開催時の取組の参考にします。

イベントごみの減量化・資源化に向けた取組アイデア

ここからは「企画・運営」「広報・印刷物」「使い捨て削減・飲食」「ごみ処理方法」「終了後」の場面にわけて、具体的な取組項目を紹介します。

企画・運営

はじめに責任者（リーダー）を決め、イベントでどんなことに取り組めるのかスタッフみんなで話し合ってみましょう！



01

ごみ減量を推進する責任者（リーダー）を決め、イベントの内容に応じた取組項目を選定する

02

スタッフや出展（店）者にごみ減量に関する取組方針や内容等を説明し、実施の徹底を図る

03

参加者にごみの持ち帰り（ごみ箱の不設置）、減量化、分別等への協力について周知しておく

04

実施を外部に委託する場合は、委託仕様書にごみ減量やリサイクルの具体的な行動を盛り込む

05

看板、展示パネル等の仮設物やスタッフのユニフォーム等は、既存のものをリユース又はレンタル・リースを活用する

06

環境に配慮した啓発物品（ノベルティ）を選択し、その旨を掲載し、ごみ減量等の普及啓発を兼ねて配布する

07

物品の購入に当たっては、環境ラベルの有無等を参考に、環境に配慮した商品を選択する

08

マイボトルの利用促進のため、会場内に給水スポット（イベント用給水機）を設置する

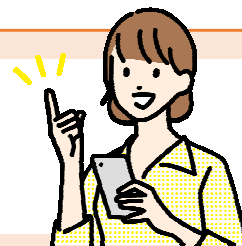
広報・印刷物

イベントごみ減量には、「ペーパーレス」の取組が不可欠です。また広報を通じて、イベント参加者にも環境配慮イベントをPRしましょう！

09

イベントの広報にはWEB や SNS 等のデジタル媒体を活用することで、チラシやポスターのペーパーレス化を図る

イベントのターゲットや目的に応じて、必要な枚数だけチラシを印刷するようにしましょう！



10

チラシやポスター、場内放送等により参加者にごみ減量の取組等の環境に配慮したイベントであることを周知し、取組への理解と協力を呼びかける

11

両面印刷や縮小印刷等を活用し、紙の使用量を減らす

12

印刷物にリサイクルの支障となるような禁忌品（きんきひん）が含まれないように配慮する※ ※ 箔押し加工やラミネート加工されたチラシ等

禁忌品とは、紙の原料にならないものや、リサイクルの障害になるもののことです。禁忌品はリサイクル可能な古紙には混ぜずに、燃やすごみとして処分してください。

【詳しくは】

禁忌品 金沢市

🔍 検索

13

チラシ等は、必要部数を精査するとともに、効果的な配布場所や配布方法を検討することで無駄が生じないようにする

14

会場内での配布物を減らすため、二次元コードからの読み取りや電子掲示板を活用する

15

アンケートを実施する場合は、紙を使わないWEB アンケートを利用する

16

プログラム等の印刷物にごみの持ち帰りを呼びかける表示を掲載する

17

印刷物に古紙パルプ配合率の高い再生紙や森林認証紙等を使用する

使い捨て削減・飲食

イベントで飲食や物販がある場合は、ごみが多く排出される傾向にあります。積極的に取組を進めましょう！

18 来場者に食べきりを呼びかける

19 来場者にマイバック、マイボトル、マイ食器等の持参を事前に呼びかける

20 パッケージの簡素化やレジ袋の削減など、商品への過剰な包装を抑える

21 来場者に容器を持参してもらい、量り売りを実施する

22 マイバッグ利用など環境配慮の取組に協力している参加者に特典を与える

23 CO₂の発生抑制につながる素材でできた商品（紙製トレイ、木製スプーン、バイオマスプラスチック製の容器等）を使用する

24 スタッフの弁当を、使い捨て容器ではない弁当箱を使っている仕出し弁当にする

25 包み紙等の簡易な包装で食べられる食品を提供する

26 繰り返し使えるリユース食器を利用する

リユース食器とは、使い捨て容器に替えて使用する、洗って再利用する食器やカップ、お箸類等の総称です。イベントでのリユース食器の貸出しや、洗浄保管などを行う NPO 団体や事業者があります。



【興味をもった方は】

リユース食器

検索

27 食べ残しを減らすため、ハーフサイズ等の小盛りメニューを用意する

ごみ処理方法

28

適切な数及び分別区分がわかりやすい設置方法でごみ箱や分別ボックスを設置する、又は会場内にごみ箱を設置しない

ごみ箱の不設置は、ごみ減量に効果的な取組ですが、会場内や近隣にごみが溢れることがないように、イベントに応じた取組を進めましょう！

ポイント

イラスト等で分別方法がわかりやすいごみ箱にしましょう



29

会場内で配布したチラシで不要となったものを回収するための古紙回収ボックスを設置する

チラシ回収のための「古紙リサイクルボックス」を、金沢美術工芸大学の学生さんと一緒に製作しました。

ナッジ理論を使い、不要となったチラシを思わず入れたくなるボックスになっています。ボックスをイベント会場に設置し、楽しみながら古紙の回収をしてみませんか？

【詳しくは】ごみ減量推進課までお問い合わせください。



30

飲料の残りを捨てる容器の設置や生ごみの水切りなどにより、可能な限り可燃ごみに水分が入らないようにする

31

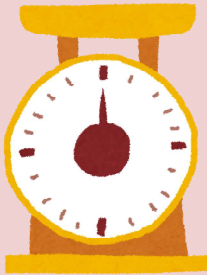
ごみの分別方法等の掲示又は説明するスタッフを配置する

終了後

イベント終了後は、各取組の実施状況やごみの発生量等をまとめ、今後の取組に役立てましょう！

32

主催者としてイベントで発生したごみの量を種類ごとに集計する



ごみは種類ごとに分別しリサイクルします
ごみ量を把握し次のイベントに繋げましょう！

【ごみの種類】

段ボール、チラシ類、燃やすごみ、プラスチックごみ、
ペットボトル、ビン、缶

33

イベント案内等で余った印刷物は、古紙回収に出すなどリサイクルする

34

チラシ・パンフレット類の配布部数等を記録し、次回以降の参考とする

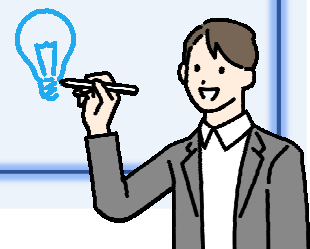
35

ごみ減量の取組についての改善点や今後実施すべき項目等を検討し、今後のイベントに活かす

36

参加者にアンケートを実施し、取組の浸透度や今後の課題等を把握する

あなたのイベントで取り組める項目はありましたか？
ここで紹介した取組はほんの一例です。
他にもアイデアを出し合っごみの出ないイベントの
実現を目指しましょう！



3 取組のポイント

ごみを減らすポイントは3つの「R」

ごみを減らすためには、次の3つのRを意識することが大切です。

リデュース（Reduce） ごみになるものを減らす

リユース（Reuse） 捨てずに繰り返し使う

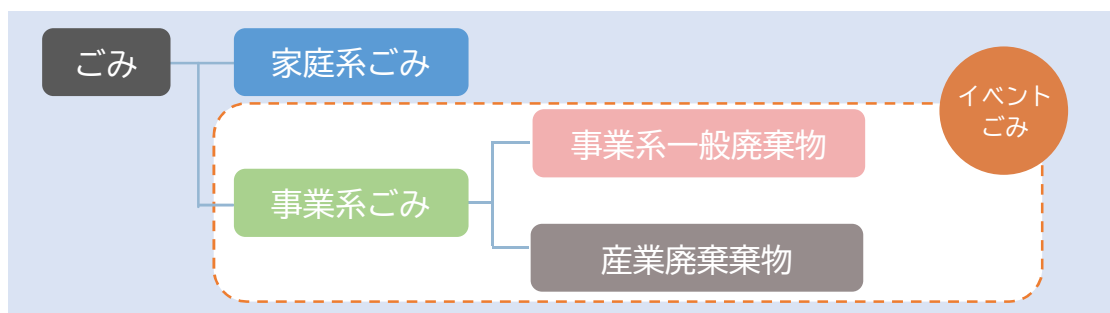
リサイクル（Recycle） ごみを再び資源に戻す

なお、最終的にごみとなってしまったものを有効利用するリサイクルの取組は重要ですが、資源に戻すためのエネルギーが必要になります。持続可能な社会の実現のため、消費される資源の削減につながる「リデュース」や「リユース」の取組を特に推進しましょう。

4 ごみの処理方法

イベントで出たごみは「事業系ごみ」

取組を進めても出てしまったごみは「事業系ごみ」に該当します。家庭系ごみと異なり、ごみステーションに搬出することはできません。イベント責任者は、適切に処理できる業者を選んで処分しましょう。



【事業系ごみの処分方法の詳細は】

金沢市 事業系ごみ処理ルール

🔍 検索

5 取組チェック表

P. 3～7で紹介した「イベントごみの減量化・資源化に向けた取組アイデア」を取組チェック表として一覧にまとめました。取組の参考にしてください。

イベントごみ減量に向けた取組チェック表

イベント名			
開催期間	～		
開催場所			
参加者数（人）	予定：	実績：	
イベントの概要、目的			
出展（店）者数	合計数	うち、物販の数	飲食の数
主催者			
本チェック表の作成者	社名：	氏名：	電話（内線）：

【本チェック表の利用手順】

1. イベントの企画・準備段階で、どの項目に取り組むかを検討する
2. 取り組む項目が決まったら、該当する項目の「計画」欄にチェックをつける
3. イベント終了後、実際に取り組むことができた項目の「実行」欄にチェックをつける
4. 取組における課題や反省点を振り返り、次回以降の改善につなげる

(1) 具体的な取組内容

	計画	実行	
企画・運営	ごみ減量を推進する責任者（リーダー）を決め、イベントの内容に応じた取組項目を選定する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スタッフや出展（店）者にごみ減量に関する取組方針や内容等を説明し、実施の徹底を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	参加者にごみの持ち帰り（ごみ箱の不設置）、減量化、分別等への協力について周知しておく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実施を外部に委託する場合は、委託仕様書にごみ減量やリサイクルの具体的な行動を盛り込む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	看板、展示パネル等の仮設物やスタッフのユニフォーム等は、既存のものをリユース又はレンタル・リースを活用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	環境に配慮した啓発物品（ノベルティ）を選択し、その旨を掲載し、ごみ減量等の普及啓発を兼ねて配布する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	物品の購入に当たっては、環境ラベルの有無等を参考に、環境に配慮した商品を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広報・印刷物	マイボトルの利用促進のため、会場内に給水スポット（イベント用給水機）を設置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	イベントの広報にはWEBやSNS等のデジタル媒体を活用することで、チラシやポスターのペーパーレス化を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	チラシやポスター、場内放送等により参加者に環境に配慮したイベントであることを周知し、取組への理解と協力を呼びかける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	両面印刷や縮小印刷等を活用し、紙の使用量を減らす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	作成する印刷物にリサイクルの支障となるような禁忌品が含まれないように配慮する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	チラシ等は、必要部数を精査するとともに、効果的な配布場所や配布方法を検討することで無駄が生じないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	会場内での配布物を減らすため、二次元コードからの読み取りや電子掲示板を活用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
使い捨て削減・飲食	アンケートを実施する場合は、紙を使わないWEBアンケートを利用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	プログラム等の印刷物にごみの持ち帰りを呼びかける表示を掲載する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	印刷物に古紙パルプ配合率の高い再生紙や森林認証紙等を使用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	来場者に食べきりを呼びかける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	来場者にマイバック、マイボトル、マイ食器等の持参事前に呼びかける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	パッケージの簡素化やレジ袋の削減など、商品への過剰な包装を抑える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	来場者に容器を持参してもらい、量り売りを実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取組方法	マイバック等の利用などの環境配慮の取組に協力している参加者に特典を与える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	CO2の発生抑制につながる素材でできた商品（紙製トレイ、木製スプーン、バイオマスプラスチック製の容器等）を使用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スタッフの弁当を、使い捨て容器ではない弁当箱を使っている仕出し弁当にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	包み紙等の簡易な包装で食べられる食品を提供する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	繰り返し使えるリユース食器を利用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	食べ残しを減らすため、ハーフサイズ等の小盛りメニューを用意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	適切な数及び分別区分がわかりやすい設置方法でごみ箱や分別ボックスを設置する、又は会場内にごみ箱を設置しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
終了後	会場内で配布したチラシで不要となったものを回収するための古紙回収ボックスを設置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	飲料の残りを捨てる容器の設置や生ごみの水切りなどにより、可能な限り可燃ごみに水分が入らないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ごみの分別方法等を掲示したり、説明するスタッフを配置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	主催者としてイベントで発生したごみの量を種類ごとに集計する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	イベント案内等で余った印刷物は、古紙回収に出すなどリサイクルする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	チラシ・パンフレット類の配布部数等を記録し、次回以降の参考とする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ごみ減量の取組についての改善点や今後実施すべき項目等を検討し、今後のイベントに活かす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他 (自由記載)	参加者にアンケートを実施し、取組の浸透度や今後の課題等を把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5 取組チェック表（続き）

(2) 取組の点検・評価・見直し（イベントごみ減量の取組におけるよかった点、反省点、課題、今後に向けた改善案等について記入）

--

(3) 当該イベントで発生したごみの量 (kg)

	発生量	うちリサイクルした量
① 段ボール		
② チラシ類		
③ 燃やすごみ		
④ プラスチックごみ		
⑤ ペットボトル		
⑥ ビン		
⑦ 缶		
計		

◆ イベントで発生するごみの例

貼り紙、余ったチラシ、パネル、養生資材、梱包資材、飲食容器、残飯、調理くずなど

◆ ごみ量を把握する方法の例

- ・ 主催者自らが回収したごみ : 主催者が秤などを用い計測する
- ・ 設営業者やごみ処理業者が回収したごみ : 設営業者やごみ処理業者からごみ量の報告をもらう

金沢市環境局ごみ減量推進課

TEL : (076)220-2521

e-mail: gomigen@city.kanazawa.lg.jp